

### 4. 3 再試験

再試験は、各履修科目の担当教員が必要と認めた場合に行われます。

受験者は、定期試験の結果、不合格（不可）の判定をうけた学生のうち、担当教員が許可した者に限定されます。

再試験の受験許可者・受験手続き・時間割については、掲示板に発表します。

再試験を許可された学生は、再試験受験願に再試験受験料（1教科につき3,000円）を添えて教務課に提出して下さい。

## 5 成績

授業科目を履修した学生に対し試験を行い、合格基準を満たした学生に対しては、その授業科目に定められている単位が与えられます。これを担当教員からみて単位認定、学生からみて単位修得（取得）といいます。

単位認定は、授業科目の履修が終わった時点で行われます。

いちど単位を取得した授業科目は履修の終了が認定されたのですから、再度の履修はできません。

### 5. 1 成績評価の表示方法

学業成績の評定は、優・良及び可の成績を合格とし、不可の成績を不合格として行われます。

評定は下表のとおり、「S」「A」「B」「C」「D」「F」などの記号におきかえられ、成績通知書又は成績証明書などに表されます。

【平成19年度（2007年度）以降の入学者に適用する成績評価の表示方法】

合 否	評 定	記 号	説 明
合 格 (単位修得)	優	S, A	「S」評価は、生命環境化学科及び情報システム学科の学生を対象とする。
	良	B	
	可	C	
不合格 (単位未修得)	不 可	D	履修放棄、試験未受験を示す。
	不 可	F	
単位修得	認 定	N	認 定。
単位修得	認 定	G	入学前の既修得単位が認定されたことを示す。

成績評価は、100点満点として、80点以上を優（A=80~100点）、70点以上を良（B=70~79点）、60点以上を可（C=60~69点）、60点未満を不可（D）とし、可（C）以上を合格としています。

なお、生命環境化学科と情報システム学科における優の成績表示は、80点以上を「A」、90点以上を「S」と表示します。

【平成18年度（2006年度）年度以前の入学者に適用する成績評価の表示方法】

合 否	評 定	記 号	説 明
合 格 (単位修得)	優	S, A	「S」評価は、応用化学科及び電子工学科の平成15年度以降の入学者を対象とする。
	良	B	
	可	C	
不合格 (単位未修得)	不 可	D	
	不 可	F	履修放棄、試験未受験を示す。
単位修得	認 定	N	認 定。
単位修得	認 定	G	入学前の既修得単位が認定されたことを示す。

成績評価は、100点満点として、80点以上を優（A=80～100点）、70点以上を良（B=70～79点）、60点以上を可（C=60～69点）、60点未満を不可（D）とし、可（C）以上を合格としています。

なお、応用化学科と電子工学科における優の成績表示は、平成15年度以降の入学者から、80点以上を「A」、90点以上を「S」と表示しています。

## 5. 2 成績の発表

前期末成績の発表は8月の下旬、学年末成績の発表は2月中旬に行います。成績発表の期日についてはあらかじめ掲示します。

なお、2～4年への進級・卒業判定の発表は3月上旬に掲示して発表します。

成績に関する学生の質問は、指定された成績発表日に限り認められています。

担当教員宛に「成績質問カード」を記入の上、教務課へ提出して下さい。

## 5. 3 成績通知書の送付

学生個々の成績表は、個人情報の取扱いに準じて、教務課から保証人（父母など）宛に送付します。

前期末までの成績通知書は10月の下旬、学年末までの成績通知書は3月下旬に送付します。

学生は、常に緊張感をもって学習に取り組んで下さい。

なお、インターネットを利用して閲覧することが出来ます。詳しくはホームページをご覧ください。

## 6 再履修

履修した授業科目の単位を取得できなかったときは、その科目の履修をもう一度はじめてからやり直すこととなります。これを再履修といいます。再履修科目の履修登録や試験などは、新規履修の場合と同じです。

再履修にあたっては、次の点に注意して下さい。

- ① 必修科目の単位を取得できなかったときは、必ず再履修する。
- ② 選択必修科目、選択科目の単位を取得できなかったときの再履修科目は、各自の選択によりますが、進級や卒業に必要な単位数を修得できるよう選定する。